



南側から見る可愛い山 雨飾山

「中信署 雨飾山を「可愛い山」と表現したのは深田久弥（日本百名山著者）の登山仲間。
頸城山塊の西端に少し離れて、長野・新潟の県界に独立峰のように位置します。「可愛い」と評されたのは、間近に連なる北アルプスに比べて小ぶりなの

◇「可愛い山 雨飾山」



に、表情が豊かな山だからでしょうか。

雨飾山は季節ごとに様々な顔を見せてくれます。標高（一九六三メートル）の割に高山植物が豊かな事で知られ、春先のミズバショウや初夏のシラネアオイも目を引きます。登山口から続くブナ林の新緑や紅葉は、残雪や初雪とのコントラストをいっそう引き立てます。

また、山の姿自体も、見る場所によって様々に変わります。大町市側（南側）から見るとどっしりとした「ピラミッド型」だと深田氏は形容しています。しかし、新潟県側（北側）から見ると南峰と北峰が競い合うようにたつ双耳峰であり、「ネコの耳」と呼ばれて親しまれているそうです。さらに小谷村大綱（西側）からは、剣のように陰しく鋭くとがる姿を見ることができません。

標高こそ二千メートルに及ばない山ですが、眺望もすばらしく天気の良い日には間真近に白馬岳から槍ヶ岳等の北アルプスや日本海を望むことも出来ます。山の懐には温泉を隠し持ち、冬は山岳スキーを楽しむ人々を迎えます。昔、糸魚川の漁師はこの峰にかかる雲の形で天気を予測したり、海に出たときの目標としたと云われています。

山の名前の由来はその昔、南峰には「雨飾山大神」、北峰に「雨飾山姫神」を祀って雨乞い祈願をしたことから、「雨」という、登山者にとつてあまりありがたくない名がついたと云われています。

雨飾山は、気になるカワイイあの子みたいに表情をくるくると変える「可愛い山」なのです。

◇アクセス

小谷温泉側からのコース（JR大糸線南小谷駅から小谷温泉までバス四〇分）・糸魚川市梶山温泉からのコース（JR北陸本線糸魚川駅～山口バス停三分）その他二コース